

令和2年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	音楽 I 改訂版 Tutti 教育出版						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」と「楽器を演奏すること」を中心に、「音楽を聴くこと」を交えて1年間通して様々な楽曲について学習します。
- ・学習の到達度は、実技テストと、課題レポートや授業毎に提出するノートで見ます。
- ・音楽は音で表現する芸術です。クラスの仲間とともに実際に音を出すこと、さらに、合わせることで音は高められ、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ノート	観察 ノート	演奏の聴取 相互評価	観察 ノート、レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	リコーダーと、リズムアンサンブルを楽しもう	【歌唱】 ヴォイスアンサンブル 【器楽】 クラッピング リコーダー基礎 「故郷」 他	○	○	○		a: アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: 五線譜、リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ノート 演奏の聴取
	イメージをもつて豊かな声で歌いあげよう	【歌唱】 「今、咲き誇る花たちよ」 カンツォーネ ドイツリート 劇音楽 【鑑賞】 カンツォーネ ドイツリート Circle of life	○	○	○	○	a 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: カンツォーネやリートやミュージカルナンバーを実際に歌うことで、それらをより深く理解し、よさや美しさを味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 グレゴリオ聖歌 アヴェ・マリア ライオンキング	○			○	a: 音楽の成り立ちや楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考え、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート

2 学期	混声四部合唱に挑戦！ ハーモニーを奏でる喜び	【歌唱】 混声四部合唱曲	○	○	○	<p>a: 曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: リズム、速度、旋律、ハーモニー、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもってハーモニーを感じながら音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、読譜、音感などの技能を身に付けている。</p>	観察 ノート 演奏の聴取
	リコーダー3重奏に挑戦！ ハーモニーを奏でる喜び	【器楽】 リコーダー3重奏	○	○	○	<p>a: リコーダーの音色や奏法に関心を持ち、複数のパートを合わせて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: リコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、楽曲に於ける自分のパートの役割を意識し、創造的に表している。</p>	観察 ノート 演奏の聴取
	様々な音楽を通して音楽文化についての理解を深めよう	【鑑賞】 夏休み課題発表	○			○	<p>a: 古今東西様々な音楽の種類やそれぞれの特徴に関心を持ち、レポートを作成し発表することで、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、音楽の種類やそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>

3 学期	鑑賞のステップアップ 声の魅力を探ろう	【鑑賞】 ミュージカル 「キャッツ」 オペラ 【歌唱】 「メモリー」 クラス発表曲 他	○	○	○	○	a: 総合芸術であるオペラやミュージカルの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 場面を音楽で作り上げることを知覚し、音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリアやミュージカルナンバーの演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラやミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	感じ取って歌おう 旋律の美しさや言葉の響きを	【器楽合奏】 クラス発表曲	○	○	○		a: クラスで役割を分担し、学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための器楽の技能を身に付けている。	観察 ノート 演奏の聴取
	和楽器に親しむ	【鑑賞】 箏曲	○			○	a: 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、邦楽の種類とそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして、和楽器に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」の分野は a, b, c の 3 観点で、「鑑賞」の分野は a, d の 2 観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。